

白山地区

白山地区別計画推進委員会

地域 白山1~4丁目

緑区の東方に位置しており、南側は旭区、北側は都筑区に隣接している。北側には鶴見川が流れている。横浜線沿いの地区西側には白山ハイテクパーク（産業団地）、市営バス車庫、東側には高層マンションが建っている。道路沿いに企業、商業施設等が並ぶ。

また、南側に向って丘陵状になっており、計画的に整備された戸建中心の閑静な住宅地が広がっている。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居中学校

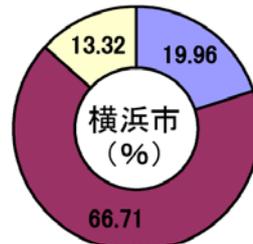
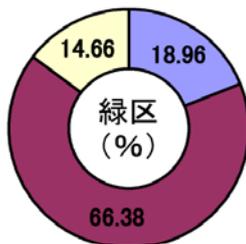
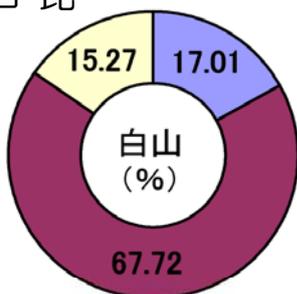
地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

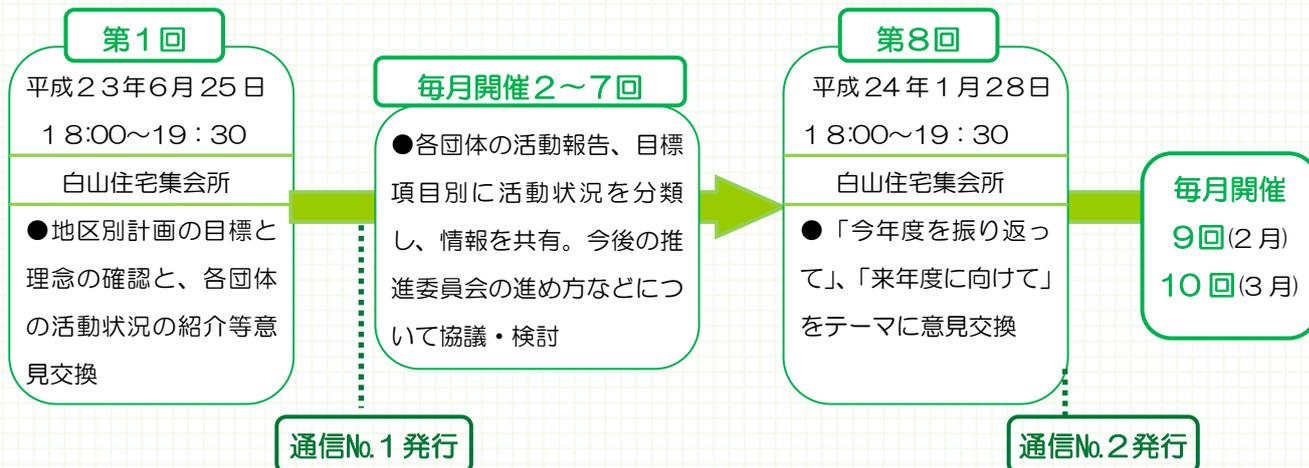


75歳~	617人
65~74歳	1,177人
15~64歳	7,141人
6~14歳	1,074人
0~5歳	536人
合計	10,545人

75歳~	14,370人
65~74歳	19,186人
15~64歳	117,467人
6~14歳	16,000人
0~5歳	9,942人
合計	176,965人

75歳~	336,653人
65~74歳	403,089人
15~64歳	2,472,006人
6~14歳	300,920人
0~5歳	192,789人
合計	3,705,457人

地区別計画推進委員会の開催状況





白山地区

新しいコミュニティの醸成を目指して！

白山地区では、昨年度策定した地区別計画をもとに、今年度は白山「安全・安心なまちづくり」～新しいコミュニティの醸成～という理念を掲げ、①防犯 ②防災 ③福祉 ④子どもの健全育成 ⑤環境 の5つを目標にまちづくりに取り組んでいます。

白山地区別計画推進委員会は、自治会長をはじめとした、白山で活動している団体の代表者30名で構成され、毎月開催しています。各団体の活動状況や課題を委員会で共有することにより、団体間の協力関係が深まり、地域が一体となって地区別計画を推進しています。

また、白山連合自治会には住民の方以外にも、障がい者施設（グループホーム）も加入しており心の「バリアフリー」が進んでいます。



(写真：避難訓練の様子)

自治会と各種団体との連携強化を図ることができました。

毎年、障がい者施設や福祉施設と協力して、災害時の避難訓練も実施しています。

今年度の推進委員会の主な成果としては、デジタル無線機を地域防災拠点と自治会、民生・児童委員に配備して、災害時の情報手段を確保するとともに、安否確認体制の整備を行いました。また、新しい老人クラブ設立に向けて、自

白山「安全・安心なまちづくり」～新しいコミュニティの醸成～
を目指して取組みを進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。



白山地区別計画推進委員会



白山地区別計画推進委員会

平成23年7月発行

白山地区別計画推進委員会通信 No.1

第1回白山地区別計画推進委員会を開催！！

平成23年6月25日（土）18時～19時30分 白山住宅集会所において、「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン 白山地区別計画推進委員会」を開催し、白山地区別計画の推進に向け、活動の状況や課題、抱負などを話し合いました。

◇ みどりのわ・ささえ愛プランとは？ ◇

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、緑区で誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む計画です。

平成17年度に第1期計画が策定され、今年度から第2期計画（平成23～25年度）がスタートしました。



◇ 白山地区別計画とは？ ◇

「白山地区別計画」は、白山地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。地域の自治会、福祉・保健団体などの代表による地区別計画策定委員会において、平成22年2月から話し合いを重ね、平成23年3月に「白山地区別計画」を策定しました。推進委員会は、この計画の実現に向け、地域と一体となって活動します。皆様のご協力をお願いします。

広報よこはま緑区版の8月号に、コラムが掲載されていますのでご覧ください！





白山地区別計画推進委員メンバー ◎委員長 白山連合自治会長 山口 章

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。(委員30名 顧問2名)

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●コガモひろば
- 体育指導委員 ●青少年指導員 ●保健活動推進員 ●わかば会 ●いちえ会 ●グループホーム森の泉 ●白山グリーンクラブ ●白山親猿会 ●老人会 ●白山シニア会 ●シル友会
- 連合子ども会 ●環境事業推進員 (順不同)

出席委員からこれまでの活動や課題、抱負についてご発言いただきました。

委員の皆さんからの主な意見

- マンションは横のつながりが弱く、近隣の方でも顔がわからない方もいる。
 - ・ 挨拶からはじめ、暑気払いの行事などによる交流を大切にしたい。
 - ・ 住民であればどなたでも参加できる「ふれあい広場」を月1回開催している。
 - ・ 3月11日の震災時には帰宅できない子供を支えあった。おたがいさまの意識が生まれてきた。
- 防災訓練の参加者は10年前は100名程度。現在は、まだ少ないが500名になった。福祉祭り、餅つき大会などを通じ、コミュニティは深まっている。
- 他の地域の良い取り組みをどう白山に取り入れるか思案中。
- 「おたがいさまカード」の活用を検討していきたい。
- 紙媒体以外の広報も検討したい。
- 3月の震災時に1人暮らし世帯を訪問し感謝された。被害が大きい場合は、民生委員だけでは周りきれないため、自治会にも協力をお願いしたい。
- スポーツ・イベントを通じて世代間の交流を深めていきたい。
- 他の団体とも協力しあいたい。ネットワークを作っていきたい。
- 震災時には地域の方数名が森の泉（グループホーム）に安否確認に来てくださり感謝している。地域に支えられていることを感じた。
- 老人クラブは高齢化している。複数の自治会が連携して老人会を設立してもらいたいが、自治会役員の任期が短いいためなかなか話が進まない。
- 緑小の保護者のボランティアで、人気があるのがカーテンの洗濯とベルマークの整理。自宅ででき時間に拘束されないボランティアなら協力も得やすいのではないか。

山口委員長より

●委員のみなさんからの意見を参考に、①防犯、②防災、③福祉(高齢者・障害者のすみやすいまち)、④子供の健全育成、⑤環境(ゴミ、美化、エネルギーなど)を目標・理念として、白山「安全・安心なまちづくり」を目指し、白山のみなさんとともに取り組みをさらに進めていきたいと考えています。

●今後、毎月推進委員会を開催しますので、どなたでもご参加ください。



<連絡先>

白山地区別計画推進委員会
事務局 緑区税務課長
TEL930-2260



白山地区別計画推進委員会
平成24年2月発行

白山地区別計画推進委員会通信 No.2

平成24年1月28日(土)白山住宅集会所において、みどりのわ・ささえ愛プラン 第8回「白山地区別計画推進委員会」を開催し、今年度の振り返りと、来年度に向けての抱負、課題などの話し合いを行いました。



第8回推進委員会の様子

★白山地区別計画推進委員会とは…

毎月開催！

白山地区で活動している、自治会長をはじめとした団体の代表30名で構成され、毎月開催しています。「みどりのわ・ささえ愛プラン白山地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向け、地域の状況、目標達成のための具体的な取組や進捗状況の情報共有と課題の解決に向けた検討、意見交換等を行い、活動を推進する委員会です。

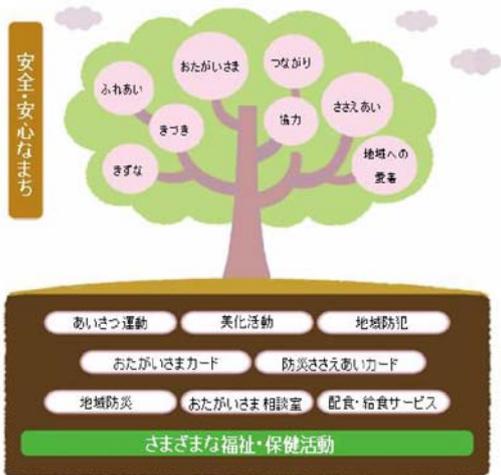
★みどりのわ・ささえ愛プラン白山地区別計画とは…

新しいコミュニティの醸成を目指して！

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む緑区の地域福祉保健計画です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。白山地区においては、白山地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「白山地区別計画」を策定し、目指す地域の姿をまとめました。それをもとに今年度は、白山「安全・安心なまちづくり」～新しいコミュニティの醸成～という理念と防犯、防災、福祉、子どもの健全育成、環境の5つの目標を明確に掲げ、計画の推進、まちづくりに取り組んでいます。

白山の目指す地域の姿



23年度白山地区別計画推進委員会の活動状況	
6月	第1回委員会 (6/25)
7月	第2回委員会 (7/24)
8月	第3回委員会 (8/27)
9月	第4回委員会 (9/24) / 防災訓練
10月	第5回委員会 (10/22) / 地域合同避難訓練 / 健民祭 / 白山地区センター祭り
11月	第6回委員会 (11/26)
12月	第7回委員会 (12/24)
1月	第8回委員会 (1/28) / 餅つき大会
2月	第9回委員会 (2/25) / 防災訓練 / 社会福祉大会 (2/22 白山地区発表)
3月	第10回委員会 (3/24 予定)

第8回地区別推進委員会で出された白山地区の取組みについて ～今年度を振り返って&来年度に向けて～

～ 紙面の都合からほんの一部分を紹介させていただきます。～

《自治会の活動》

白山の各自治会では、夏祭り、納涼祭、福祉まつり、健民祭、大なべ大会など様々なイベントを開催しました。地域の皆様から参加してよかったとのご意見が多く寄せられましたので、できるだけ多くの方にご参加いただけるようPRを進めます。開催するのは大変でしたが、楽しくもありました。

防災活動では3月11日の地震の経験を活かして、鴨居中学校地域防災拠点での訓練を始め、各自治会でも、ドアノブにタオルを巻く「白山2時間ルール」を取り入れた安否確認など、様々な工夫をした訓練を行い、備蓄庫の整備や備品の補充も行ないました。今後も、災害に備えた活動を行ないますので、自分たちでできることはやっておく、隣近所の助け合いなどのご協力をお願いします。

老人クラブがまだない自治会では、親睦会や茶話会などを開催して交流の場を広げました。

《自治会以外の各団体の活動》

- ・高齢者世帯の戸別訪問を実施しました。病院への送迎サービスを利用する方は、まだ少ないですが増えつつあります。交通局へ要望して鴨居駅の2番バス停にベンチを設置してもらいました。
- ・連合自治会との連携を深め、積極的にイベント等に協力し、地域の接着剤となるよう努力しました。来年度も、地域の皆様が顔見なじみを増やしていけるよう、より強い接着剤の役割を担っていきます。
- ・書初め・餅つき大会を開催しました。書初めの提出枚数は減りましたが、大会全体の子どもの参加人数は変わっていません。また、緑小学校では、若い保護者の方の参加が多くなり、活動も活発になっています。
- ・老人クラブで初詣・ゴルフ・カラオケを実施しました。近隣の方のご理解をいただき、「白山2丁目」バス停ができました。
- ・今年度、「町ぐるみ健康づくり教室」を開始し、毎月「いきいき体操教室」や生活習慣病の講演会などを開催しました。
- ・私たちの団体も、10年以上の活動を通じて地域社会に仲間入りができるようになりました。鴨居中学生の配食ボランティアは3名から始まり、今年は約20名にまでになり皆さん一生懸命活動しています。
- ・民生委員・自治会・社会福祉協議会・地域ケアプラザ・消防と一緒に、障がい者施設、老人福祉施設で避難訓練を行いました。障がい者もなれてきましたし、近隣の皆様のご理解を得るのにも役立っているため今後も続けていきます。
- ・白山高校までのメイン通りに、春と秋に花を1000株ずつ植えました。これらの活動について、「ハマロードサポーター」として市長から感謝状をいただきました。

白山地区別計画推進委員メンバー ◎委員長 白山連合自治会長 山口 章

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。(委員30名 顧問2名)

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●コガモひろば
- スポーツ推進委員 ●青少年指導員 ●保健活動推進員 ●わかば会 ●いちえ会 ●グループホーム森の泉 ●白山グリーンクラブ ●白山親猿会 ●白寿会 ●白山シニア会 ●シル友会
- 連合子ども会 ●環境事業推進員 (順不同)



《山口委員長より》前向きに取り組む姿勢を地域の文化にしたいと考えています。白山「安全・安心なまちづくり」～新しいコミュニティの醸成～を目指してまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

＜連絡先＞

白山地区別計画推進委員会
事務局 緑区 税務課長
TEL：930-2260